

はじめに 研究代表者 和泉 薫	i
研究組織	iii
交付金決定額	iv
研究発表	v
アウトリーチ活動	ix
目次	xi

第一部 大雪災害調査報告

2014年2月14日～15日南岸低気圧時の地上気象要素と降水の分布(中井専人)	1
2014年2月14-16日の関東甲信地方に大雪をもたらした大気場の3次元構造の特徴 (本田明治・山崎 哲・吉田 聡・藤田 彬・木村祐輔・岩本勉之)	6
ブロッキング現象に関係した2014年2月の日本付近の大気循環場 (山崎 哲・本田明治・吉田 聡)	12
冬季本州内陸における多降水・多降雪の発現(安藤直貴・上野健)	19
2014年2月大雪における関東甲信地方の降水形態の時間的・空間的变化 (河島克久・松元高峰・伊豫部勉・和泉 薫・平井 柔)	23
2014年2月中旬の大雪による関東甲信地方の詳細積雪深分布 (伊豫部勉・松元高峰・河島克久・和泉 薫)	27
2014年2月関東甲信大雪における多雪地域の積雪水量と積雪特性 (河島克久・和泉 薫・伊豫部勉・松元高峰)	33
2014年2月大雪, 東京都心部の雪観測と積雪荷重評価(松田益義・清水孝彰)	39
平成26年関東甲信豪雪における人的被害 一群馬県と長野県の分析から― (上村靖司・関 健太)	45
大雪による集落孤立の実態と対応課題―山梨県を中心に―(沼野夏生)	51
2014年2月の大雪による建築物の被害 (高橋 徹・千葉隆弘・高倉政寛・中村一樹・植松 康)	62
2014年2月の大雪による温室の被害とその対策(森山英樹・井上 聡)	72
2014年2月の大雪による農業被害地域の推定 (井上 聡・小南靖弘・根本 学・大野宏之・森山英樹)	83
栃木県南西部のスギ林に冠雪害をもたらした2014年2月14-15日の気象条件 (松元高峰・河島克久・伊豫部勉)	89
2014年2月の大雪により関東甲信地方で発生した広域停電 (伊豫部勉・河島克久・松元高峰・和泉 薫)	95
2014年2月の大雪から学んだ今後の冬期道路対策 (福原輝幸・寺崎寛章・齊田 光)	99
2014年2月の大雪時の山梨県内の貨物車の移動と除雪後の交通状況について (佐々木邦明)	108
2014年2月中旬の大雪による雪崩災害の発生状況と特徴 (和泉 薫・河島克久・伊豫部勉・松元高峰)	111
2014年2月の南岸低気圧の降雪による雪崩被害と関連する大雪災害 (上石 勲・中村一樹・安達 聖・山下克也)	119
2014年2月関東甲信の大雪で発生した雪崩と地形・植生の調査 (秋山一弥・池田慎二・松下拓樹・関口辰夫)	126
国道48号関山峠の雪崩災害(阿部 修・中村一樹・佐藤研吾・小杉健二)	135
低気圧性の降雪により2014年2月9日に山形県西川町で発生した雪崩の特徴 (中村一樹・小杉健二)	139
雪氷災害発生予測システムの今回の大雪災害への適用の可能性 (山口 悟・平島寛行・本吉弘岐・上石 勲)	145
早川町で発生した雪崩を対象とした3次元流動解析 (小田憲一・上石 勲・内山庄一郎・山口 悟)	151
雪崩ハザードマップの作成―PCQ法を用いて―(西村浩一・常松佳恵・森 啓輔)	156
融雪の影響による地すべり性斜面変動の事例 (井良沢道也・若井明彦・外狩麻子・上石 勲・後藤 聡・町田 敬)	161
災害地点における今昔の写真を用いたデータベースの構築と防災教育への利用に関する研究 (池本敏和・吉田雅穂・福原輝幸)	171

第二部 今後の対策に向けた提言

今後の対策に向けた提言(生活関連)(沼野夏生・上村靖司)	173
今後の対策に向けた提言(建築物被害)(高橋 徹)	174
今後の対策に向けた提言(農業被害)(井上 聡・森山英樹)	175
今後の対策に向けた提言(道路交通)(福原輝幸)	176
今後の対策に向けた提言(雪崩災害)(上石 勲)	177
今後の対策に向けた提言(融雪災害)(井良沢道也)	179